

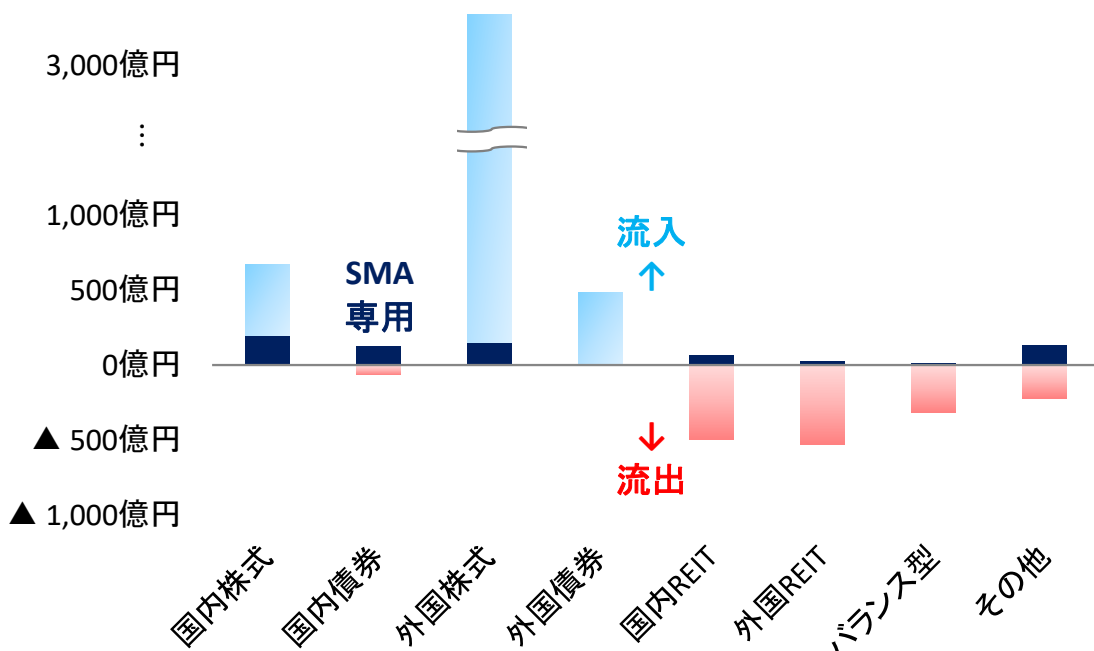
研究員
の眼インデックス型の外株を除くと売却超過
～2023年12月の投信動向～金融研究部 主任研究員 前山 裕亮
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

資金流入が外国株式を中心に前月からやや増加

2023年12月の日本籍追加型株式投信（ETFを除く。以降、ファンドと表記）の推計資金流出入をみると、12月は外国株式、国内株式、外国債券を対象とするファンドに資金流入があった【図表1】。外国REITファンド、国内REITファンド、バランス型ファンドからは資金流出していたが、ファンド全体だと3,200億円の資金流入があり、11月の700億円から2,500億円増加した。

やはり12月も外国株式ファンドに3,300億円の資金流入があり、資産クラス別で最も資金流入があった。特に一般販売されているインデックス型の外国株式ファンドには3,500億円もの資金流入があり、11月の2,900億円から増加した。

【図表1】2023年12月の日本籍追加型株式投信（除くETF）の推計資金流出入



(資料) Morningstar Direct より作成。各資産クラスはイボットソン分類を用いてファンドを分類。

インデックス型の外国株式以外は引き続き低調

ただし、12月はファンド全体で3,200億円の資金流入があったが、SMA専用ファンドとインデックス型の外国株式ファンドを除くと900億円の資金流出と2カ月連続の流出超過だった。流出額こそ11月の3,000億円から1/3以下になったが、インデックス型の外国株式ファンド以外だと販売が引き続き低調であったといえるだろう。

実際に外国株式ファンドでも、一般販売されているアクティブ型に限ると300億円の資金流出であり、流出額こそ11月から半減したが2カ月連続で流出超過であった。また、国内株式ファンドは700億円の資金流入と11月の1,100億円の資金流出から流入に転じたが、一般販売されているアクティブ型へは500億円の資金流入と11月と同程度であった。12月は11月に株価の急上昇に伴い膨らんでいたインデックス型の売却が収まっただけで、国内株式ファンドが11月より特段売れた様子は見られなかった。

外国債券ファンドも12月に500億円の資金流入と11月の60億円から増加したが、資金流入のほとんどが12月に新設された限定追加型（【図表2】青太字など）への流入だった。既設の外国債券ファンドが売れているわけではなかった。さらに外国REITファンド、国内REITファンド、バランス型ファンドは11月よりも資金流出が増加した。特に外国REITファンドは、12月に基準価額が大きく上昇したファンドが多かったこともあり、500億円の資金流出と11月の200億円から倍増した。

資金流出した内外REITファンドのほとんどが毎月分配型であった。毎月分配型ファンド全体でも12月は800億円の資金流出と11月の500億円から増加しており、11月以上に売却が膨らんだ。毎月分配型ファンドは足元でも売れているファンド（【図表2】緑太字）もあるが、新NISAからの買付が不可になっていることもあり、2024年も解約基調が続くのか動向が注目される。

【図表2】2023年12月の推計純流入ランキング

ファンド名	運用会社	11月の流出	12月の推計純流入	純資産12月末時点
1位 eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UFJアセットマネジメント	719 億円	1,088 億円	18,206 億円
2位 eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJアセットマネジメント	659 億円	777 億円	29,988 億円
3位 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D毎月(ヘッジなし)予想分配金提示	アライアンス・バーンスタイン	364 億円	587 億円	21,860 億円
4位 インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	インベスコ・アセット・マネジメント	532 億円	581 億円	10,673 億円
5位 ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	ティール・ロウ・プライス・ジャパン	---	309 億円	312 億円
6位 日本好配当リバランスオープン	SBI岡三アセットマネジメント	153 億円	254 億円	1,597 億円
7位 ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和アセットマネジメント	123 億円	243 億円	1,441 億円
8位 Oneグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2023-12(限定追加型)	アセットマネジメントOne	---	201 億円	199 億円
9位 SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	SBIアセットマネジメント	171 億円	160 億円	12,256 億円
10位 HSBC インド・インフラ株式オープン	HSBC アセットマネジメント	119 億円	151 億円	623 億円

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC 専用ファンドは除く。

【図表3】2023年の推計純流入ランキング

ファンド名	運用会社	'22年の流出	'23年の推計純流入	純資産'23年末時点
1位 インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	インベスコ・アセット・マネジメント	1,742 億円	7,573 億円	10,673 億円
2位 eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJアセットマネジメント	7,364 億円	7,517 億円	29,988 億円
3位 eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UFJアセットマネジメント	4,148 億円	7,352 億円	18,206 億円
4位 SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	SBI岡三アセットマネジメント	2,901 億円	2,372 億円	12,256 億円
5位 楽天・全米株式インデックス・ファンド	楽天投資信託顧問	2,958 億円	2,161 億円	12,132 億円
6位 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D毎月(ヘッジなし)予想分配金提示	アライアンス・バーンスタイン	4,563 億円	1,397 億円	21,860 億円
7位 日本好配当リバランスオープン	SBI岡三アセットマネジメント	50 億円	1,370 億円	1,597 億円
8位 ピクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなしコース	ピクテ・ジャパン	501 億円	1,238 億円	2,115 億円
9位 ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和アセットマネジメント	31 億円	1,219 億円	1,441 億円
10位 高成長インド・中型株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント	261 億円	1,167 億円	2,317 億円

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC 専用ファンドは除く。

インデックス型の外国株式ファンドが投信販売を支える

このように投信市場ではインデックス型の外国株式ファンドの影響が日に日に大きくなっており、12月に限らず2023年は1年を通してインデックス型の外国株式ファンドが投信販売を牽引した。個別にみても、おなじみのインデックス型の外国株式ファンド（赤太字）が12月も上位にあり、2023年を通してでも資金流入上位だった【図表2、3】。

インデックス型の外国株式ファンドの設定額、解約額、資金流入の推移をみると、あくまでも11月までになるが2023年6月以降に設定額（青棒）が5,000億円程度の推移が続いており、2023年後半に買付が一段と増えていることが分かる【図表4】。資金流入（線グラフ）は解約（赤棒）が膨らむ月もあって買付と比べて安定していないが、それでも毎月3,000億円程度もしくはそれ以上の純流入が半年以上続いている。

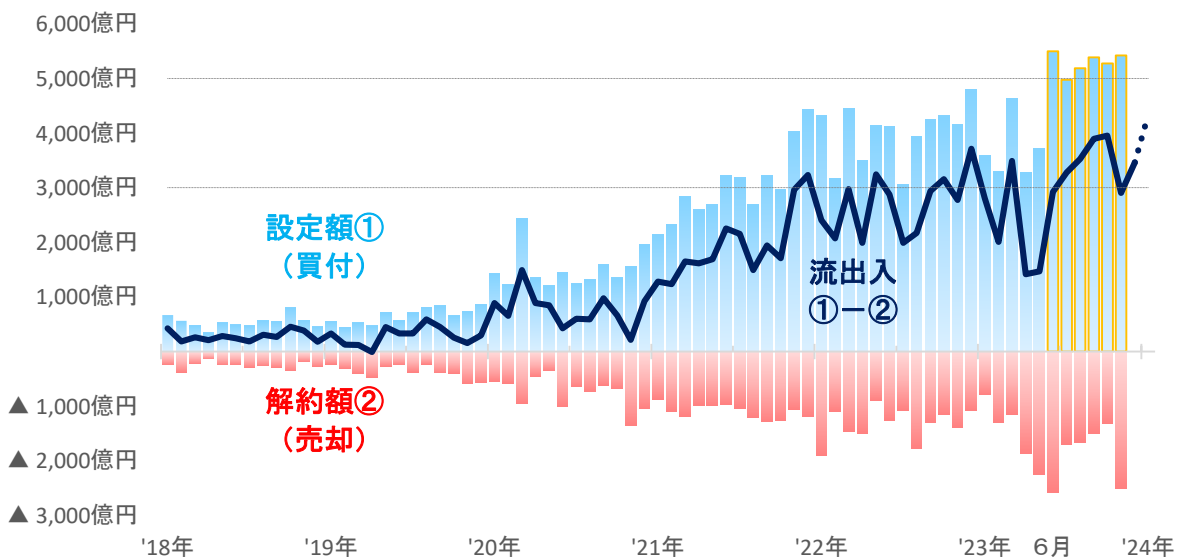
2023年後半にインデックス型の外国株式ファンドの買付が膨らんでいる背景には、やはり新NISAの開始が迫っていることがあるだろう。実際に2023年9月末までの情報になるが、つみたてNISAは2023年7-9月に四半期の口座開設が過去最大となり、906万口座まで増えている。口座の増加に伴って買付も順調に増えてきており、インデックス型の外国株式ファンドが一足はやく買い付けられているのかもしれない。

なお、新NISAの開始された2024年1月は11日までににもかかわらずインデックス型の外国株式ファンドに4,300億円もの資金流入があった【図表4：点線】。このままどこまでインデックス型の外国株式ファンドの買付が増えるのか注目される。

米株集中よりも分散投資が選好？

インデックス型の外国株式ファンドの中では、これまで米国株式の株価指数に連動する米国株式ファンドが人気であった。しかし、米国株式ファンドには2023年も1兆7,200億円と大規模な資金流入があったが、2022年の1兆8,000億円と比べるとやや鈍化した。

【図表4】 インデックス型の外国株式ファンドの設定額、解約額、資金流入の推移



（資料）Morningstar Direct より作成。SMA 専用ファンドは除外。2023年12月、2024年1月（11日まで）は流入のみで推計値

その一方で全世界株式や先進国株式など米国株式以外のインデックス型の外国株式ファンドに2023年は1兆8,000億円の大規模な資金流入があり、2022年の1兆4,300億円から3,700億円も増えた。個別でも12月にもっとも資金流入があった「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)」の流入額が2023年1年間で7,400億円と2022年の4,100億円から大きく増えた。2024年1月も11日までは米国株式ファンドの2,000億円に対してそれ以外の外国株式ファンドの方が2,300億円とやや資金流入が多くなっている。

新NISAに限った話ではないが、米国株式への集中投資よりも全世界株式や先進国株式など分散投資を意識する投資家が増えているのかもしれない。

ハイテク系のテーマ型外国株式ファンドが高パフォーマンスに

12月は円高が進行したものの米国株式を中心に外国株式が上昇したが、ハイテク系のテーマ型外国株式ファンドが好調であり、基準価額が10%以上も上昇するファンドも多かった【図表5】。また、2023年通してもみても一部のハイテク系のテーマ型外国株式ファンドが特に好調であった【図表6】。

【図表5】2023年12月の高パフォーマンス・ランキング

順位	ファンド名	運用会社	12月の 収益率	過去1年 収益率	純資産 12月末時点
1位	US/バイオ・ベンチャー(限定追加型)	ベイビュー・アセット・マネジメント	28.0%	30.4%	13億円
2位	インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド	インベスコ・アセット・マネジメント	21.9%	74.3%	156億円
3位	インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)	インベスコ・アセット・マネジメント	21.8%	73.6%	65億円
4位	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース	野村アセットマネジメント	21.4%	5.5%	113億円
5位	eMAXIS Neo フィンテック	三菱UFJアセットマネジメント	18.7%	72.9%	18億円
6位	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース	野村アセットマネジメント	18.2%	19.3%	192億円
7位	グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)	日興アセットマネジメント	17.1%	26.8%	134億円
8位	eMAXIS Neo クリーンテック	三菱UFJアセットマネジメント	17.0%	-0.8%	26億円
9位	米国分散投資戦略ファンド(5倍コース)	三井住友DSアセットマネジメント	16.9%	2.5%	167億円
10位	グローバル5.5倍バランスファンド(予想分配金提示型)	日興アセットマネジメント	16.9%	26.5%	19億円

(資料) Morningstar Direct より作成。2023年12月末残高が10億円以上のETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

【図表6】2023年の高パフォーマンス・ランキング

順位	ファンド名	運用会社	12月の 収益率	'23年の 収益率	純資産 '23年末時点
1位	NASDAQ100トリプル(マルチアイ搭載)	大和アセットマネジメント	16.1%	119.9%	59億円
2位	iFreeNEXT FANG+インデックス	大和アセットマネジメント	2.4%	110.1%	469億円
3位	FANG+インデックス・オープン	大和アセットマネジメント	2.4%	110.1%	177億円
4位	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド	日興アセットマネジメント	10.2%	99.6%	2937億円
5位	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド(予想分配金提示型)	日興アセットマネジメント	9.7%	96.4%	30億円
6位	野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)	野村アセットマネジメント	5.3%	93.6%	1266億円
7位	グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント	12.7%	90.9%	1026億円
8位	グローバル・フィンテック株式ファンド	日興アセットマネジメント	12.7%	90.9%	1374億円
9位	USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド	三井住友DSアセットマネジメント	1.7%	89.2%	528億円
10位	グローバル・メタバース株式ファンド	日興アセットマネジメント	9.8%	88.5%	64億円

(資料) Morningstar Direct より作成。2023年末残高が10億円以上のETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したものです。その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。